

# 事業者向け 児童発達支援 自己評価表

重症児デイサービスとくとくとく

実施期間：2023年10月～2024年1月

	チェック項目	返答	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	どちらでもない	新型コロナウイルス感染予防を継続しつつ1m距離をとっており、機器のお預かりや車椅子の置き場もあることから狭く感じる	
	職員の配置数は適切であるか	はい		
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい		
業務改善	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	はい	毎日、掃除・アルコール消毒、常時換気を行っており、寒さに備えてホットカーペット等の温器具を準備している	
	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	どちらでもない	月に1回全体ミーティングを行っている。また定期的に個別のミーティングを行いその度出る課題に対して改善するように努めている	
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	どちらでもない	アンケート調査を行なっているが、感染対策に注意しながら密にならないように短時間でやっている	
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	はい		
適切な支援の提供	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	いいえ	必要時は外部へ確認しているが定期的な外部評価は行えていない	
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい	事業所内やオンラインでの研修、また喀痰吸引研修に参加している	
	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	はい	リハビリ、医療分野から専門的視線で分析して、要望に合わせた計画書を作成している	
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はい	フェイスシート、アセスメントシート、医療アセスメントシートを事業所に作成している	
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	はい	保護者様からアセスメントを聴取すると共に、体験時に児童の個性・可能性を予想して、専門的視点で支援内容を設定している	
	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	はい		
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい	療育は療育担当チーム、機能訓練は機能訓練士とで話して行っている	
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい	子ども一人一人の能力、個性に応じた方法で、支援・イベント等も変化を付けながら行っている	
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	どちらでもない	新型コロナウイルス感染予防を継続しつつ、集団活動は距離を置いて行っている。個別の活動は昼食後に行っている	
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい	当日の予定は掲示して誰が誰の支援をするか役割分担等の見える化を図っている	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	どちらでもない	支援終了後には打ち合わせを行っていない。月に数回ミーティングを行い情報共有している。当日利用時に情報共有している	
	関係機関や保護者との連携	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい	議事録、申し送り表に毎日記載している
定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		はい	子どもの状態(手術後や医療ケア児)に合わせて計画の見直しをしている	
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		はい	新型コロナウイルス感染予防を継続しつつ、サービス担当者会議等への出席も行っている	
母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		どちらでもない	必要に応じて市の子ども支援科と協力し児童のサポートを行っている	
(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		はい	必要な方を優先に連携を行っている	
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		はい	指示書や情報提供書を依頼したり、地域連携室に必要なに応じて連絡している	
移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		どちらでもない	家族やノートを介したり、送迎時に共有している。今年は移行する児童はいない	
移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		はい	特別支援学校の先生方と直接に情報共有を行ったり、ノートを介して家族や先生との共有、送迎時間の共有を行った	
児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		はい	短時間での見学や障害児等療育支援事業の依頼を行っている	
保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか		はい	ハロウィンイベントにて交流を行った	
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		いいえ	参加まで至っていない	
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		どちらでもない	必要に応じて短時間からの個別相談を行ったり、送迎時に伝達を行っている	
保護者への説明責任等	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	はい	保護者から依頼を受けた時は必ず、また機能訓練士から何かある時は伝達している	
	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	はい		
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	はい		
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい	食事、姿勢、コミュニケーション、活動内容の話をしており、専門的なアドバイスや支援を提供している	
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	いいえ	保護者会や説明会等の開催は行えていない	
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい	要望等に対して困難な場合、相談支援員・ご家族・他事業所等と話し合い迅速かつ適切に対応している	
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい	毎月の行事の案内等は行なっているが、活動等は感染状況を考慮して直前にお知らせしている	
	個人情報に十分注意しているか	はい		
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい		
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	はい	地域のお店や就労支援事業所の協力して頂き、ご家族参加型のイベントを行った	
	非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	はい	職員間では全てのマニュアルの周知が出来ている。保護者には緊急時のマニュアルを確認している
		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	はい	新型コロナウイルス感染予防を継続しつつ地域の方からの協力して頂き訓練等を行っている
事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		はい	指示書を主治医に依頼している。服薬も必要に応じて預かっている	
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		はい	動画や資料を通して研修を行なっている	
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		はい	身体拘束といった目的では行っていない。日常生活の延長で必要に応じてベルトをしている	
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		はい	指示書を主治医に依頼。ご家族へ確認等行っている	
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	はい	ヒヤリハットと事故報告書を作成。スタッフ全員で共有している		